

『すくすくウオッチ』は、小学5・6年生を対象とした府独自の学力調査の愛称です。昨年度から始まった取組で、今年度は4月に実施されました。問題とアンケートを実施し、そこから一人ひとりの良さや課題を児童自身や保護者、教育現場が知ることによって、みんなが子どもたちの育ちを見守っていくことがねらいです。

問題は、国語・算数・理科の各教科の問題（6年生は、全国学力・学習状況調査があるため5年生のみ）と、教科横断型問題の「わくわく問題」があります。教科問題の解答時間は各20分間で、4年生までの学習内容から出題されます。わくわく問題の解答時間は40分間で、解答形式は選択式や記述式だけでなく、図や絵をかく問題もあります。日常の活動やSDGsなどの現代的な諸課題等をテーマとして、文章やグラフなどの様々な資料を題材に、資料を読み取ったり、自分の考えを表現したりするような問題が出題され、答えが1つでない場合も

小学生すくすくウオッチ

い  
ず  
み  
さ  
の  
教  
育



問合先  
学校教育課

あります。また、アンケートでは、未来に向かう力（目標に向かってがんばる力、気持ちをコントロールする力、人と関わる力）、授業での活動、家庭での様子などについての質問項目に回答します。

問題とアンケートの結果は、「ウオッチシート」として一人ひとりに配付され、児童は自分の強みや弱みを見つけて、これらの学習に活用します。

現在、泉佐野市の小・中学校では、全国学力・学習状況調査をはじめとして、これらの学力調査などの結果を活用して学力向上の取組を各校で進めています。日々の授業や活動で、子どもたちが「できた！」「わかった！」「楽しい！」という経験を積み重ね、それが主体的な学習につながる、確かな学力を育むことをめざして、今後も様々な取組を継続していきます。



学校園紹介



創立150周年を迎えて  
～日根野小学校～

本校は、11月に創立150周年記念行事を控えています。これをきっかけに、これまで受け継がれてきた“つながり”を大切にしつつ、次にどう繋いでいくかを考え周年行事の計画をすすめています。



子どもたちはよりよい学校生活に向けて、テーマや目標を決めたり、イメージキャラクターを考えたりすることで、これまで本校で大事にしてきたことを思い起こしています。グローバル化・情報化が進み予測困難だといわれる社会ではありますが、「将来の夢」を記念誌に記し、近未来の自分の姿を思い描くことで、意欲的な学びにつなげていきたいと考えています。



さらに、子どもたちに命の大切さや生き物を慈しむ心を育むため、老朽化が進むうさぎ小屋を新築します。小屋は約20年前に当時のPTAが中心となり作ったもので、今も飼育委員会が中心となり、命を繋ぐ取組を継続しています。

本校の伝統を継承しつつ、「豊かな心を持ち、自ら考えすすんで行動できる子どもを育てる」という教育目標の実現をめざします。



生徒会活動・クラブ活動  
～日根野中学校～

【生徒会活動】 毎日のように続けている生徒会役員による「あいさつ運動」。はじめのころはその反応ももう一つだったようですが、今は心温まる雰囲気になっています。朝、一日が始まるその時間をどんな雰囲気にすることが出来るのか？生徒会役員だけでなく、委員会活動などの協力も得ての今後の活動に期待を寄せています。



【クラブ活動】 中学校ならではの放課後の時間「クラブ活動」。対外的な結果ももちろんこだわってほしいとは思いますが、その中で培われる部員同士、顧問の先生との一生の付き合いになるような関係が一人ひとりの居場所・安心につながっています。



【根を養えば、樹は自ら育つ】 生徒会活動・クラブ活動のような、学校ならではの活動の中にこそ、大切なものが隠されているように感じます。そんな活動の中で、心の根を育てていく。その根に支えられ、日根野中学校ならではのまた違った取組を深めていきたいと思っています。

